

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要		平成6年度		根拠法令・規程等	離島振興法・道路法
事業開始年度		平成6年度			
総合計画	大項目	基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり	問 担 当 課 (室)
	中項目	基本施策	01	生活しやすいまちづくり	
	小項目	施策	11	道路	
事務事業名		09	架橋建設事業(通常)		架橋対策室 室長補佐 淵本安志 電話 0869-64-1877

事業の実施			
対 象 (誰・何に対して)	市民・観光客他		
目 的 (何のために)	離島地域の隔絶性の解消、救急医療などの安全性の確保、産業振興、人口の定着化、観光資源の活用、交流人口の増による地域振興を図る		
行 政 活 動 (どのような方法で)	市道日生頭島線の整備		
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	離島地域の隔絶性の解消、救急医療などの安全性の確保、産業振興、人口の定着化、観光資源の活用、交流人口の増による地域振興を図る		

事業の実績					
活 動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	道路工事	箇所	1	1	1
	用地購入	箇所			1
	調査	箇所	1	1	1
実 績	事業費	千円	388,200	125,118	320,732
	必要人員	人件費	9,060	11,082	10,914
	事業費計		397,260	136,200	331,646
	国 支 出	千円	258,800	91,400	213,000
	受 益 者 負 担		0	0	0
	財 源	千円	0	0	0
	市 債		129,000	43,400	101,100
そ の 他 (一 般 財 源)		0	0	0	
受 益 者 負 担 比 率	%	9,460	1,400	17,546	

結果指標名		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
結果指標①	結果指標量	箇所	1	1	1
	対前年対比	%	-	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	9,060	11,082	10,914
	単位当たりコスト		9,060	11,082	10,914
結果指標②	結果指標量	箇所	1	1	1
	対前年対比	%	-	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	9,060	11,082	10,914
	単位当たりコスト		9,060	11,082	10,914

事業の成果					
事業進捗率	成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	到達目標値	目標値(A)	41	44	45
		実績値(B)	41	42	45
達成率(B/A)		100.0%	95.5%	100.0%	
成果指標設定の考え方・式や説明					
実施事業費計/計画総事業費					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている	妥当性評価<A~E> B
		<input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	
市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	国庫補助(離島架橋)事業・地方道路整備臨時交付金事業。安全で快適に暮らせる町づくり。離島地域の隔絶性の解消、救急医療などの安全性の確保、産業振興、人口の定着化など地域振興が期待できる。	
	<input type="checkbox"/> 説明		
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> C
		有効性の評価	目的達成度
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている		

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	結果指標量②			成果指標量	
		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合
状況			○			
説明	20年度からの繰越、21年度事業を完了させ、事業の進捗を図る。					

総合評価			
事業費の削減を図りつつ、事業を推進する。	評価区分<A~E>	B	

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明		○				
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		
	妥当性					
	効率性					
	有効性					